

# HANKYU HANSHIN Letter

株主通信  
Vol. 40  
2020年11月発行

**決算期**

3月31日

**定時株主総会**

6月

**基準日**

定時株主総会

権利行使株主確定日 3月31日

期末配当金受領株主確定日 3月31日

中間配当金受領株主確定日 9月30日

**単元株式数**

100株

**株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関**

東京都千代田区丸の内一丁目4番5号

三菱UFJ信託銀行株式会社

**同連絡先**

〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号

三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部

TEL.0120-094-777(通話料無料)

**公告方法**

電子公告

(但し、事故その他やむを得ない事由によって電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載)

電子公告掲載URL <https://www.hankyu-hanshin.co.jp/ir/>

**株主のお手続きに関するお問い合わせ先**

手続きの内容	株式口座の開設先	証券会社	特別口座(※1)
マイナンバーのお届出(※2)	口座開設先の証券会社	三菱UFJ信託銀行株式会社	三菱UFJ信託銀行株式会社(口座管理機関) 大阪証券代行部 TEL.0120-094-777 (通話料無料)
住所変更、単元未満株式買取請求・買増請求などの各種お手続き			
特別口座から証券会社の口座への振替請求	—	—	—

※1 2009年1月5日の株券電子化時に、株券をお手元に保管されていた株主様の株式(登録株を含む)につきましては、特別口座で管理されています。  
**特別口座で管理されている株式につきましては、一般口座にお振替いただくことができません。**三菱UFJ信託銀行大阪証券代行部までお問い合わせ下さい。

※2 2015年10月以降、市区町村から通知されたマイナンバーは、株式の税務関係の手続きで必要となるため、株主様から、株式口座開設先の証券会社などへマイナンバーをお届出いただく必要があります。マイナンバーのお届出の詳細につきましては、株式口座開設先の証券会社などまでお問い合わせ下さい。

発行： 阪急阪神ホールディングス株式会社 〒530-0012 大阪市北区芝田一丁目16番1号  
TEL:06-6373-5100 FAX:06-6373-5670

株主様のご意見・ご感想をお待ちしております。  
<https://www.hankyu-hanshin.co.jp/contact/>



この印刷物は、大豆油インキを包含した植物油インキと適切に管理された森林の木材を利用しているFSC® 認証紙を使用しています。





代表取締役会長 グループCEO

角 和夫

代表取締役社長

杉山 健博

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。第183期中間株主通信をお届けするにあたり、ご挨拶を申し上げます。

### 第2四半期決算の概要

2020年度第2四半期の連結業績につきましては、都市交通事業をはじめ、エンタテインメント事業、旅行事業、ホテル事業、不動産事業など、多くの事業で新型コロナウイルスの影響を大きく受けたため、営業収益・営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する四半期純利益は、いずれも下表の通り、前年同期に比べ大幅に減少いたしました。

### 通期の連結業績予想

これまで通期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルスの影響を合理的に算定することが困難であることから、未定といたしておりました。現時点でも先行きは極めて不透明ですが、今般、各事業の足元の収益動向等を踏まえ、新型コロナ

ウイルスの影響見通しにつき一定の前提を置いて業績予想を算出し、下表の通り発表いたしました。

現在、日本国内では人の移動が近場から再開し、少しずつ遠方へも広がりをみせ、またソーシャルディスタンスも徐々に緩和されてきていますが、こうした回復への動きはまだ確かなものではなく、さらに人の移動が世界全体でみられるようになるには、おそらくまだ相応な期間が必要になると思われます。

こうしたことから、2020年度の業績は誠に遺憾ながら赤字の見通しですが、当社グループでは、引き続き少しでも改善を図るべく、できる限りのコスト削減や不急の投資抑制をはじめ、これからも最善を尽くしてまいりますので、何卒ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

### 配当の実施

一方、株主の皆様への利益還元につきましては、緊急事態宣言が発令されていた2020年4・5月の

状況が期を通じて継続するような最悪のシナリオは避けられる見込みであることから、安定的な配当を維持することとし、年間配当金は、2019年度と同様に1株当たり50円を予定しております。この方針に基づき、このたび1株当たり25円の間配当を実施いたしました。

### 新しい時代に向けて

当社グループは、鉄道の開業以来100余年にわたり、先例に捉われることなく時代を先取りした柔軟な発想で、社会やお客様のニーズに合った商品・サービスを提供し、そして何度も時代の転換点を乗り越えてまいりました。

今、再び一つの転換点に直面しようとしていますが、これからも、新たな時代に適応した商品やサービスを展開し、それを活かしてグループの持続的な成長につなげてまいりたいと考えておりますので、今後とも株主の皆様のご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

## 2020年度 第2四半期決算 連結業績ハイライト

	2018年度 第2四半期累計	2019年度 第2四半期累計	2020年度 第2四半期累計	前年同期比
営業収益	3,748億円	4,107億円	2,410億円	△1,697億円 △41.3%
営業利益	566億円	715億円	△147億円	△863億円 —
経常利益	549億円	719億円	△194億円	△913億円 —
親会社株主に帰属する 四半期純利益	339億円	476億円	△230億円	△706億円 —

## 2020年度 通期業績予想

	2018年度 実績	2019年度 実績	2020年度 予想	前年度比
営業収益	7,914億円	7,627億円	5,750億円	△1,877億円 △24.6%
営業利益	1,149億円	952億円	△120億円	△1,072億円 —
経常利益	1,105億円	888億円	△230億円	△1,118億円 —
親会社株主に帰属する 当期純利益	655億円	549億円	△360億円	△909億円 —

2020年度第2四半期の連結業績につきましては、都市交通事業をはじめ、エンタテインメント事業、旅行事業、ホテル事業、不動産事業など、多くの事業で新型コロナウイルスの影響を大きく受けたため、営業収益・営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する四半期純利益は、いずれも前年同期に比べ大幅に減少いたしました。

	2020年度 第2四半期累計	前年同期比	
営業収益	2,410億円	△1,697億円	△41.3%
うち新型コロナウイルス影響	△1,426億円		
営業利益	△147億円	△863億円	—
うち新型コロナウイルス影響	△739億円		
経常利益	△194億円	△913億円	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	△230億円	△706億円	—

## 各事業における新型コロナウイルスの影響

(単位:億円)

	営業収益 への影響	営業利益 への影響 ①	特別損益 計上分 ②	実質的な 利益影響 (①+②)	主な内容
都市交通	△388	△308	△5	△313	緊急事態宣言の発令等に伴う外出自粛、インバウンド需要の減少等による減収
不動産	△160	△57	△22	△78	商業施設の一時休館や営業時間の短縮、国内マンション事業の販売活動休止等による減収
エンタテインメント	△328	△161	△38	△199	プロ野球の開幕延期に伴う公式戦主催試合の減少、宝塚歌劇の公演中止、イベント開催制限措置の影響等による減収
旅行	△202	△115	△11	△126	海外・国内ツアーの催行中止等による減収
ホテル	△273	△99	△17	△117	インバウンド需要や、旅行・出張・宴会の取りやめによる国内需要の減少等による減収
連結合計	△1,426	△739	△93	△832	

特別利益には雇用調整助成金等を、特別損失には新型コロナウイルス関連損失(\*)をそれぞれ計上しています。

(\*) 政府や地方自治体による要請や声明等により、営業を停止又はイベントの開催を中止した際に、当該営業停止期間中に発生した固定費や、当該イベントの開催準備及び中止のために直接要した費用等は、(日本公認会計士協会より公表された通達に基づき)特別損失に計上しています。

## セグメント別の概況

(単位:億円)

都市交通 	2020年度 第2四半期累計	前年同期比	鉄道事業・自動車事業とも新型コロナウイルスの影響を受け、旅客数が大きく減少したことや、前年8月にコンビニエンスストア事業及び駅売店事業を外部化した影響等により、大幅に減収・減益	
	営業収益	723		△465
	営業利益	△70 (△75)		△320 (△325)
不動産 	2020年度 第2四半期累計	前年同期比	マンション分譲において前年同期に大規模物件の竣工・引渡があったほか、新型コロナウイルスの影響を受け、梅田地区をはじめ多くの商業施設で一時休館や営業時間の短縮を実施したこと等により、大幅に減収・減益	
	営業収益	805		△505
	営業利益	132 (110)		△131 (△153)
エンタテインメント 	2020年度 第2四半期累計	前年同期比	新型コロナウイルスの影響を受け、スポーツ事業において阪神タイガースの公式戦主催試合が減少したことや、ステージ事業において宝塚歌劇の多くの公演を中止したことに加え、両事業とも興行の再開後にイベント開催制限措置の影響を受けたこと等により、大幅に減収・減益	
	営業収益	148		△329
	営業利益	△26 (△63)		△180 (△217)
情報・通信 	2020年度 第2四半期累計	前年同期比	放送・通信事業においてインターネットサービスの加入者が増加したこと等により、増収・増益	
	営業収益	263		+1
	営業利益	22		+1
旅行 	2020年度 第2四半期累計	前年同期比	新型コロナウイルスの影響を受け、期を通じて海外ツアーの催行を中止したほか、7月以降に販売を再開した国内ツアーも集客が前年同期を大きく下回ったことにより、大幅に減収・減益	
	営業収益	9		△208
	営業利益	△94 (△104)		△134 (△145)
国際輸送 	2020年度 第2四半期累計	前年同期比	新型コロナウイルスの影響を受け、航空輸送の取扱が減少したこと等により減収となったものの、東アジアにおいて緊急輸送の取扱があったことや日本においてロジスティクス事業の取扱が増加したこと等により増益	
	営業収益	373		△8
	営業利益	5		+9
ホテル 	2020年度 第2四半期累計	前年同期比	新型コロナウイルスの影響を受け、一部ホテルを一時休館したほか、宿泊部門・料飲部門ともに利用者数が大きく減少したことにより、大幅に減収・減益	
	営業収益	70		△243
	営業利益	△100 (△117)		△100 (△116)

営業利益の( )内は、特別損益に計上した助成金(新型コロナウイルスの影響によるもの)及び新型コロナウイルス関連損失を戻し入れた数値

通期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルスの影響を合理的に算定することが困難であることから、これまでは未定としておりました。現時点でも先行きは極めて不透明ですが、今般、各事業の足元の収益動向等を踏まえ、以下の通り新型コロナウイルスの影響見通しにつき一定の前提を置いて業績予想を算出し、発表いたしました。

## 各事業における新型コロナウイルスの影響見通し(業績予想の前提)

都市交通	<b>【鉄道】</b>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期外は、徐々に減収率が縮小し、2021年3月時点で前々年同月比△2割台半ば程度まで回復すると想定</li> <li>定期(通勤)は、下期も一定の影響(前々年同期比△1割程度)が続くと想定</li> <li>定期(通学)は、下期も一定の影響(前々年同期比△2割台半ば程度)が続くと想定</li> </ul>
不動産	<b>【自動車】</b>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>路線バスは、概ね鉄道と同様の推移を想定</li> <li>空港バスは、航空便の運航見通しに基づき算定(関西国際空港の国際線については年度内は回復しないと想定)</li> </ul>
エンタテインメント	<b>【賃貸】</b>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>足元の状況を踏まえ、商業施設等の賃料収入の減を想定</li> </ul>
旅行	<b>【分譲その他】</b>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>国内分譲マンションは、販売活動の休止(4・5月)等による影響を考慮</li> </ul>
ホテル	<b>【スポーツ】</b>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>プロ野球は、イベント開催制限措置を受け、下期の主催試合(21試合)における各試合の販売可能客席数を約20,000席としたうえで、足元の販売状況を踏まえ、興行収入を想定</li> </ul>
エンタテインメント	<b>【ステージ】</b>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>宝塚歌劇は、年度末までイベント開催制限措置が緩和されていることを前提に、一部の座席(最前列など)を除き全ての座席が販売可能としたうえで、足元の販売状況を踏まえ、公演収入を想定</li> </ul>
エンタテインメント	<b>【ツアー】</b>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>国内ツアーは、Go To トラベルキャンペーン等を活用して、相応に回復すると想定</li> <li>海外ツアーは、年度内は回復しないと想定</li> </ul>
エンタテインメント	<b>【宿泊】</b>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>宿泊は、国内需要は徐々に回復していくものの厳しい状況が続くと想定、インバウンド需要は年度内は回復しないと想定</li> <li>料飲需要も、徐々に回復していくものの厳しい状況が続くと想定</li> </ul>

## 連結業績予想

都市交通事業をはじめ、ホテル事業、エンタテインメント事業、旅行事業、不動産事業など、多くの事業で新型コロナウイルスの影響を大きく受けており、大幅な減収・減益を見込んでおります。

	2019年度 実績	2020年度 予想	増減
営業収益	7,627億円	5,750億円	△1,877億円
うち新型コロナウイルス影響	△220億円	△2,187億円	
営業利益	952億円	△120億円	△1,072億円
うち新型コロナウイルス影響	△154億円	△1,164億円	
経常利益	888億円	△230億円	△1,118億円
親会社株主に帰属する当期純利益	549億円	△360億円	△909億円

### セグメント別 2020年度業績予想

	都市交通	不動産	エンタテインメント	情報・通信	旅行	国際輸送	ホテル
営業収益	1,619億円	1,971億円	395億円	598億円	114億円	762億円	216億円
うち新型コロナウイルス影響	△613億円	△282億円	△397億円		△287億円		△486億円
営業利益	△26億円	276億円	△64億円	55億円	△126億円	1億円	△211億円
うち新型コロナウイルス影響	△468億円	△118億円	△195億円		△151億円		△217億円

## 2020年度の利益配分について

緊急事態宣言が発令されていた2020年4・5月の状況が期を通じて継続するような最悪のシナリオは避けられる見込みであることから、安定的な配当を維持することといたします。

具体的には、今期の年間配当金は2019年度と同様に1株当たり50円を予定しており、このたび1株当たり25円の間配当を実施いたしました。

## 新型コロナウイルス感染症への対応

緊急事態宣言の解除後、社会全体で感染拡大防止と経済活動の両立を目指している中、当社グループにおいても、お客様や従業員等の健康と安全を最優先に考え、できる限りの感染拡大防止に取り組みながら、都市交通事業をはじめ、社会やお客様の生活に不可欠なサービスを提供し続けております。

### 当社グループの感染拡大防止への取組

- 車両や施設等の換気および消毒・清掃を徹底
- 車両や施設等に抗ウイルス・抗菌加工を実施
- 施設等を利用されるお客様の検温や入場人数の制限を実施
- お客様間、およびお客様と従業員間のソーシャルディスタンスを確保
- 従業員の感染防止対策を徹底  
(出勤時の体調確認、執務中のマスク着用、時差通勤やテレワークの推奨等)



▲阪急電鉄や阪神電気鉄道などの全車両に抗ウイルス・抗菌加工を実施



▲阪急電鉄の全駅に便座除菌クリーナーディスペンサーを設置



▲宝塚大劇場のほか各劇場では、換気を最大限強化するとともに、劇場内に抗ウイルス・抗菌加工を実施



▲阪神甲子園球場に入場されるお客様に検温を実施



▲当社グループの商業施設等ではレジにお並びいただく際に一定の間隔を確保



▲対面での対応にあたっては、飛沫防止のためにビニールシート・アクリル板等を設置

## ニュースフラッシュ

### 物流施設の開発・運営を推進

近年、Eコマース市場の急速な成長等により、高度な物流オペレーションが可能で、利便性の高い最新型の物流施設の需要が高まっています。こうした背景のもと、阪急阪神不動産では、お客様の多様なニーズにお応えすべく、立地や設備などでポテンシャルの高い物流施設の開発・運営を以下の通り推し進めています。

これからも、新たな不動産賃貸事業のメニューの一つとして、物流不動産事業の拡大を目指してまいります。

#### ■当社グループの物流施設

##### ロジスタ・ロジクロス茨木彩都

大阪府茨木市



A棟 地上5階建て・延床面積約 116,000㎡ **2021年5月竣工予定**

B棟 地上4階建て・延床面積約 31,000㎡ **2021年4月竣工予定**

当施設は、名神高速道路の「茨木IC」、新名神高速道路の「茨木千提寺IC」、名神高速道路・中国自動車道・近畿自動車道の結節点「吹田JCT」のほか、主要幹線道路へのアクセスが優れており、京阪神エリアのみならず西日本を幅広くカバーできる魅力的なロケーションにあります。

A棟には三井倉庫ロジスティクス株式会社が、B棟には株式会社ロンコ・ジャパンが、それぞれ施設1棟を借り上げることであります。

##### ロジスタ京都上鳥羽

京都市南区



地上5階建て・延床面積約14,500㎡ **2020年7月竣工済**

名神高速道路の「京都南IC」や第二京阪道路の「上鳥羽IC」のほか、主要幹線道路にも近く、京都府内をはじめ関西圏広域への配送に非常に便利な立地にあります。

当施設は、大和物流株式会社がテナントとしてご利用されています。



LOGISTA(ロジスタ)は、阪急阪神不動産が国内で展開する物流施設の名称です。

物流の「LOGI-(ロジ)」と、当社グループの象徴的な拠点「駅=STATION(ステーション)」を組み合わせたもので、物流の拠点という意味が込められています。

## 》 阪急神戸線が開業100周年を迎えました

大阪梅田と神戸三宮を結ぶ阪急電鉄神戸線が、7月16日に開業100周年を迎えました。

1920年の開業時は、神戸側の終点は現在の神戸市立王子動物園の西側付近にあった神戸(上筒井)駅でした。その後、1936年に神戸の中心地・三宮へ高架線での乗り入れを実現し、現在の神戸線の原型が出来上がりました。

開業当初は、沿線には田園風景が広がっており、「綺麗で早うて。ガラアキで眺めの素敵によい涼しい電車」との新聞広告が話題になりましたが、現在では、1日当たりの駅別乗降人員が1位の大阪梅田駅、2位の神戸三宮駅、3位の西宮北口駅をはじめ、多くのお客様がご利用になっています。

そして、神戸三宮駅前では、2021年春の竣工を目指して神戸阪急ビル東館の建替を推し進めており、今後も沿線のさらなる魅力向上に努めてまいります。



開業当時の神戸(上筒井)駅



100周年記念ヘッドマークを掲出した列車(後方は建替中の神戸阪急ビル東館)

品と質。その、頂へ。

Geo Garden



「ジオガーデン彩都筑面」の外観

## 》 戸建ブランドを〈ジオガーデン〉に統一

阪急阪神不動産では、今後、新たに供給する新築分譲一戸建は、全て新ブランド〈ジオガーデン〉に統一して、事業を展開していくこととしました。

〈ジオガーデン〉のコンセプトは、「ときめく住まい。誇れるまち。」。この新ブランドは、阪急阪神の沿線開発で培ったまちづくり・いえづくりのノウハウに、分譲マンション〈ジオ〉で積み重ねてきたものづくりを融合させたものであり、2019年8月に第1号物件として販売を開始した「ジオガーデン彩都筑面」は、好調に推移しています。

これからも、上質感・洗練性・高級感を兼ね備えた邸宅思想の住まいをお届けすべく、お客様にご支持いただけるブランドとなるよう取り組んでまいります。

## 》 阪急×阪神×東急が協働して、ラッピング列車「SDGsトレイン2020」を運行

阪急電鉄と阪神電気鉄道が2019年より運行しているラッピング列車「SDGsトレイン」の取組に、東急グループが新たに加わり、9月8日から東西で協働運行が始まりました。

ラッピング列車には最新の省エネ車両を使用しており、運行にかかる電力は実質的に100%再生可能エネルギーで賄っています。また、共通デザインのヘッドマークや車内吊りポスターの掲出など、SDGsの達成に向け多様なメッセージを発信。より多くの方々にSDGsを知っていただき、その上で、この取組が持続可能な未来を創造していくきっかけになればと考えています。



9月8日の出発セレモニーの様子



車内吊りポスターの一例

## 》 「MSCI日本株女性活躍指数(WIN)」の構成銘柄に選定

当社は、このたび、性別多様性に優れた日本企業を対象とする「MSCI日本株女性活躍指数(WIN)」の構成銘柄に初めて選定されました。

同指数は米国の大手金融サービス企業であるMSCI社が開発したものであり、女性の雇用や昇進に関するデータや取組内容などをもとに、女性の活躍推進の面で業界をリードしている企業が選定されています。また、世界最大規模の年金基金である年金積立金管理運用独立行政法人(GPIF)がESG投資(\*)を行う際に、同指数をベンチマークの一つとして採用しています。

当社グループでは、これからも、性別を問わず従業

員がいきいきと活躍できる環境の実現に向け、できる限りの取組を進めてまいります。

(※)投資を行うにあたり、環境(Environment)、社会(Social)、企業統治(Governance)という3つの要素に重きを置いて投資先を選定すること



## 阪急阪神ホールディングスグループ サステナビリティ宣言

当社グループでは、持続可能な社会の実現に向け、今後の取組の方向性を示すものとして、今年5月に「阪急阪神ホールディングスグループ サステナビリティ宣言」を策定しました。

### 基本方針

～暮らしを支える「安心・快適」、暮らしを彩る「夢・感動」を、未来へ～

私たちは、100年以上積み重ねてきた「まちづくり」・「ひとづくり」を未来へつなぎ、地球環境をはじめとする社会課題の解決に主体的に関わりながら、すべての人々が豊かさ喜びを実感でき、次世代が夢を持って成長できる社会の実現に貢献します。

### 重要テーマ サステナブル経営を進める上で、重きを置く6つのテーマ

#### 1 安全・安心の追求

鉄道をはじめ、安全で災害に強いインフラの構築を目指すとともに、誰もが安心して利用できる施設・サービスを日々追求していきます。



#### 2 豊かなまちづくり

自然や文化と共に、人々がいきいきと集い・働き・住み続けたいくなるまちづくりを進めます。



#### 3 未来へつなげる暮らしの提案

未来志向のライフスタイルを提案し、日々の暮らしに快適さと感動を創出します。



#### 4 一人ひとりの活躍

多様な個性や能力を最大限に発揮できる企業風土を醸成するとともに、広く社会の次世代の育成にも取り組みます。



#### 5 環境保全の推進

低炭素社会や循環型社会に資する環境保全活動を推進します。



#### 6 ガバナンスの充実

すべてのステークホルダーの期待に応え、誠実で公正なガバナンスを徹底します。



### 主な目標(非財務の指標)

- 鉄道事業における有責事故ゼロ
- 従業員満足度：継続的に前回調査(※1)を上回る
- 女性管理職比率：2030年度に10%程度まで向上
- 新規採用者に占める女性比率：30%以上を継続
- CO<sub>2</sub>排出量の削減率(2030年度目標2013年度比)：
  - 当社および子会社の国内事業所における排出量を26%(※2)削減
  - 阪急電鉄および阪神電気鉄道の鉄道事業における電力使用に伴う排出量を40%削減

(※1) 2年に一度実施  
(※2) NRI協定に基づく日本の温室効果ガスの削減目標として、日本政府が掲げる目標値と同水準

事業を通じた  
社会課題の解決



①安全・安心の追求

### 自然災害への対策に注力

大規模な地震や台風など、自然災害が甚大化する中、阪急電鉄では、防災・減災に向けて、ハード・ソフトの両面からさまざまな対策に取り組んでいます。

#### 安全で災害に強いインフラの構築を目指して

2018年6月の大阪府北部地震で被害を受けた阪急電鉄では、駅舎や沿線にある全てのブロック塀の緊急点検を行い、万一倒壊等があった場合に、お客様に影響を及ぼす恐れのあるブロック塀については速やかに撤去しました。

また、同地震の際に、駅間に停車した列車からのお客様の避難誘導に時間を要したことから、安全を確保しながら早期の避難誘導が可能となるよう、運転の取扱いを見直しました。具体的には、従前は「震度5以上」の揺れが確認された場合は、係員の点検により施設の安全が確認されるまでは列車を動かさない取扱としていましたが、震度5については「震度5弱」と「震度5強」で取扱を区分し、「震度5弱」の場合は、乗務員が安全確認を行った上で、最寄駅まで列車を移動できることとし、お客様の避難誘導をより円滑に行えるようにしました。

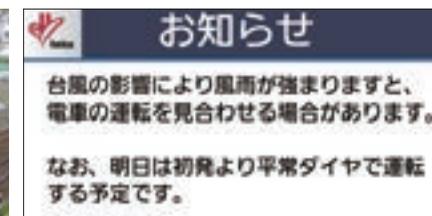


ブロック塀を撤去し、新たにフェンスを設置したホーム

このほか、大雨や台風に備えて、土砂崩れ等を未然に防止するため、線路脇の斜面については補強工事を計画的に進めています。また、大型台風の到来時において計画運休を実施する際は、お客様に適切な時期に、かつできる限り具体的な情報提供やご案内ができるよう、マニュアルの整備等を行っています。



補強工事を実施した線路脇の斜面



台風到来時の列車運行に関するお知らせ

#### 担当者の声



自然災害がいつ・どこに・どのくらいの規模で発生するかは、全く予測が付きません。そうした見えない相手に対して、いかに被害を最小限に留められるか、被災後いかに早期に復旧できるか、といった課題に立ち向かっていくのが私たちのミッションです。そのため最善策を見つけ出すことはなかなか難しいですが、逆にやりがいでもあります。これからも安全で災害に強い鉄道、交通インフラの構築に懸命に努めてまいります。

阪急電鉄 都市交通計画部 濱野 友輔(左) 南 恒平(右)

## 株主優待のご案内

3月末、9月末時点で100株以上ご所有の株主の皆様には、ご所有の株式数に応じ、株主優待回数乗車証(阪急・阪神共通回数カード)や株主優待乗車証(全線パス)、グループ各社でご利用いただけるグループ優待券をお送りしております。

### 株主優待の内容

(2020年11月現在)

優待 基準株数	優待内容	株主優待回数乗車証 (阪急・阪神共通回数カード)	株主優待乗車証 (全線パス)	グループ 優待券
100~199		2回カード×1枚 (2回乗車分)	—	1冊 
200~479		4回カード×1枚 (4回乗車分)	—	
480~999		4回カード×3枚 (12回乗車分)	—	
1,000~1,999		25回カード×1枚 (25回乗車分)	—	
2,000~6,199		30回カード×2枚 (60回乗車分)	—	
6,200~9,799 ※①②のいずれかを選択		① 30回カード×2枚 (60回乗車分)	—	
		② 10回カード×1枚 (10回乗車分)	阪神電車全線パス1枚	
9,800~15,999 ※①②のいずれかを選択		① 10回カード×1枚 (10回乗車分)	阪急電車全線パス1枚	
		② 10回カード×1枚 (10回乗車分)	阪神電車全線パス1枚	
16,000~199,999		10回カード×1枚 (10回乗車分)	阪急電車全線パス1枚 + 阪神電車全線パス1枚	
20万以上		10回カード×1枚 (10回乗車分)	阪急電車全線パス10枚 + 阪神電車全線パス10枚	

### 株主優待回数乗車証 (阪急・阪神共通回数カード)



共通回数カードの適用区間：阪急電車線及び阪神電車線全線  
(いずれも神戸高速線を除く)

### 株主優待乗車証 (全線パス)



・阪急電車全線パスの適用区間：阪急電車線全線 (神戸高速線を除く)  
・阪神電車全線パスの適用区間：阪神電車線全線 (神戸高速線を除く)

詳しいご利用方法等につきましては、株主優待とともにお送りしているご利用案内をご覧ください。

### 送付時期・有効期限

- ・株主優待については、9月30日、3月31日の株主名簿に基づき、それぞれ11月下旬、5月下旬に発送します。
- ・有効期間については、「阪急・阪神共通回数カード」は1年間、その他の優待は半年間です(施設により異なる場合があります)。

### グループ優待券の主な内容

※グループ優待券のご利用範囲については券面をご参照下さい。

なお、ご優待内容や対象施設については、予告なく変更する場合がございますので、ご了承下さい。



沖縄県 石垣島

六甲山スノーパーク

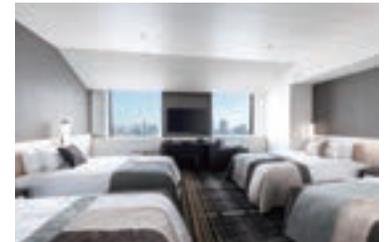
甲子園歴史館

### ホテル宿泊・飲食割引券

#### PICK UP! これまでよりお得な価格でご宿泊いただけます

- ▶ご予約時点の「阪急阪神第一ホテルグループ メンバーズクラブ会員優待料金」から、さらに5%割引いたします。
- ▶ご予約の際は、対象の各ホテルへ直接ご連絡いただき、「株主優待券をご利用」である旨をお伝えください。各ホテルの電話番号など、詳しくはグループ優待券の券面をご確認ください。

皆様のご利用をお待ちしております。



都道府県	ホテル名	都道府県	ホテル名	都道府県	ホテル名
東京	第一ホテル東京	大阪	吉祥寺第一ホテル	大阪	ホテル阪神大阪
	第一ホテルアネックス		京都新阪急ホテル		ホテル阪神アネックス大阪
	レムプラス銀座		レム新大阪		千里阪急ホテル
	レム東京京橋		兵庫	ホテル阪急インターナショナル	宝塚ホテル
	レム日比谷			大阪新阪急ホテル	レムプラス神戸三宮 (2021年春開業予定)
	レム秋葉原			新阪急ホテルアネックス	レム鹿児島
レム六本木	梅田OSホテル				
第一ホテル東京シーフォート	ホテル阪急レスパイア大阪				

### お知らせ

中間配当金(1株につき25円)は、2020年12月1日からお支払いしますので、「配当金領収証」によりお受け取り下さい。また、銀行などへの口座振込みをご指定の方は、「配当金計算書」及び「配当金振込先のご確認」のご案内によりお確かめ下さい。

なお、「配当金領収証」により配当金を受け取られる株主様にも「配当金計算書」を送付しております。配当金を受け取られた後の配当金額のご確認書類としてご利用下さい。